

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	レイモンド向日保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

平成 30 年 9 月 21 日

総 評	<p>レイモンド向日保育園は、平成25年4月に社会福祉法人檸檬会の50ほどある園の一つとして京都府向日市の周辺を田畑と住宅地に囲まれた場所に開設されました。同一法人の保育園・こども園は沖縄から関東まであり、法人本部に経営機能を集約し経営面でのルールがしっかりと整備されると共に、法人内で情報やアイデアを共有出来るよう取り組んでいます。しかし、保育内容については各施設の独立性も図られており、地域や目の前の子どもと保護者を大事にした保育運営を実践されています。</p> <p>法人共通の理念として「1. 人、命を愛する心 2. 自然と共に生きる心 3. 創造（想像）する心」を掲げ、法人内研修も充実しており、職員が同じ思いで保育を行い、子どもたちの過ごす環境が落ち着いた豊かな環境となるよう取り組んでいます。園舎は全面をガラスで覆ったパーテーションや落ち着いた木目調で統一され、フリースペースやホールと保育室が兼用になるなど、法人内で蓄積された園舎ノウハウが活かされています。</p> <p>朝夕は園長、主任が玄関で保護者に挨拶をし、いつでも話かけられる雰囲気があり、保護者に寄り添った対応を心がけています。また、休日保育も実施し、地域の保護者ニーズに対応できるよう取り組んでいます。</p> <p>職員はローテーションによる週休2日制の導入や、一週間の夏季休暇の取得が出来ます。また、法人内で人事考課制度も充実しており、透明性のある人事管理による職員の働きやすい環境整備にも努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法人独自のキャリアアップ研修があり、職員の質向上に努めています。</li> <li>・ 保育内容や経営に関する財務諸表、苦情・相談の体制や結果についてホームページやフェイスブックで公表し、運営の透明性確保に努めています。</li> <li>・ 休日保育にも取り組んでおり、一日に2～3名の利用があります。</li> <li>・ 法人本部より年に2～3回、マニュアル改訂があり、園で内容が必要と判断すれば園のマニュアルの修正を行っています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員や保護者が、法人としての目標や課題を理解し把握するためにも、中・長期計画を策定されると良いでしょう。</li> <li>・ 法人経営との兼ね合いもありますが、園独自の経営の効率化を図られるとより良いでしょう。</li> <li>・ リスクマネジメント体制として安全担当の職員などで定期的に会議を開催するなど、リスクマネジメントに関する体制を整備されるとより良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

## 【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	レイモンド向日保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成30年 9月21日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	b
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	b
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	a
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a

[自由記述欄]

・法人で統一された理念、方針は、ホームページ、園のしおりや、園内に掲示し、毎朝職員で唱和し理解に努めています。また、「れもんのこころ」という冊子を全職員に配布し、法人の考えや目指すべき姿の周知に努めています。重要事項説明書に基づいた新入園児への説明は、一日3名を上限として丁寧な説明を心がけています。

・毎年法人より内部監査があり、経営状況の厳しいチェックがあります。会計に関しては園長が法人専用のソフトを使用し、財務内容の把握に努めています。法人内でも半期に一度、収支関係のテレビ会議が開催され、各施設同士の課題や取り組みなど情報共有に努めています。今後は、施設独自の運営の効率化などに取組まれるとより良いでしょう。

・法人、施設、それぞれの事業計画が策定されていますが、3～5年を見据えた中・長期計画は策定されていません。今後は、職員や保護者が、法人としての目標や課題を理解し把握するためにも、中・長期計画を策定されると良いでしょう。単年度の計画については、職員だけでなく保護者にも配布し周知に努めています。

・園内に自己評価委員会を設置し、毎年3月末に自己評価委員会を中心に全職員で保育内容の総括を行い、一年の保育内容の評価・反省の実施と、見つかった課題に対して改善に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	b
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	a
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	a
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	a
II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	a
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	b
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

[自由記述欄]

・園長は、毎朝実施する朝礼や適宜開催するリーダー会議(行事等について)、リーダー会議プラスワン(組織力向上について)、月1回開催する全体職員会議に出席し、日々の保育の内容が園の方針に沿ったものとなるよう取り組んでいます。また、毎朝夕、園長と主任が玄関に立ち挨拶を行い、保護者とのコミュニケーションを図っています。法令に関するファイルがあり、職員はいつでも確認することができます。

・園内研修を定期的で開催したり、課題を職員に伝え、それに対する取り組みを促すなど保育の質向上に向けて取り組んでいます。また、年2回、目標カードをもとに園長と職員が話し合う機会を設け、給与と連動した評価・反省を行っています。今後は、法人経営との兼ね合いもありますが、園独自の経営の効率化を図られるとより良いでしょう。

・人材の確保については、法人全体で計画・活動し、各施設での採用と共に取り組んでいます。人事管理制度が法人で整備されており、法人研修、昇進試験、人事考課制度などがあり、透明性の確保に努めています。法人独自のキャリアアップ研修があり、職員の質向上に努めています。

・保育内容や経営に関する財務諸表はホームページに、苦情・相談の体制や結果についてはフェイスブックで公表し、運営の透明性確保に努めています。現金の取り扱いに関する規定が法人により定められており、毎日のキャッシュフローを法人に報告するなど適正は経営のための取り組みが行われています。

・地域のお祭りや行事に参加したり、近隣の高齢者施設や小学校との交流事業を行っています。それらの活動はフェイスブックで知らせると共に、地域の方が園行事に参加できるようチラシのポスティングも行っています。

・市内の関連施設とのネットワークを大切にしています。今後は、それらの関係機関・団体について、明示したリストや資料を作成するなど、職員間で情報が共有できるよう取り組まれるとより良いでしょう。月1回の園庭開放や親子で遊ぶ子育て支援サークルなどを開催しています。また、休日保育にも取り組んでおり、一日に2~3名の利用があります。今後は、地域ニーズに応じた子育て家庭が自由に参加できる支援活動を充実されるとより良いでしょう。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	b	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	a	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b	b	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a	a	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	b	
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	b	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a	

#### [自由記述欄]

・保育所の転園に際し、要録を転園先に送付するようにしています。今後は、転園後も保護者が相談出来るよう説明を行い、その内容を園のしおりなどに記載されるとより良いでしょう。

・苦情解決の仕組みを整備し、ホームページや園のしおり、園内に明示しています。園で対応した内容は園だよりに記載したり園内掲示も行い、保護者へのフィードバックに努めると共に、内容によって重要と判断したものは法人本部にも連絡し、法人内で情報を共有するようにしています。苦情解決マニュアルなどを含め、法人本部より年に2~3回マニュアル見直しを行い必要に応じて改善をしています。

・事故発生時の対応マニュアルがあり、ヒヤリハット記録もあり、事故の再発防止や改善策を検討できるよう取り組んでいます。今後は、リスクマネジメント体制として安全担当の職員などで定期的に会議を開催するなど、リスクマネジメントに関する体制を整備されるとより良いでしょう。法人より非常用の専用携帯を支給されており、園外保育等での緊急時でも常に警備会社と園や法人に情報が共有されるよう配慮しています。非常災害対策計画を作成すると共に地域の防災会議に参加するようになり、向日市が主催する防災訓練にも年1回参加しています。

・保育についての標準的な実施方法として、業務マニュアルを整備しています。定期的な法人本部からの指示を受けた内容の変更に加え、園の内容と照らし合わせて修正、加筆を行っています。今後は、見直しにあたり職員等の意見や提案が反映されるよう取り組まれるとより良いでしょう。

・指導計画について長期から短期まで策定されており、職員会議の中で策定・反省・見直しが実施されるよう取り組んでいます。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-1 (1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a	a
		AA-1-1 (2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
	48		② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	b
	49		③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
	50		④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a
	51		⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	52		⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	53		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
	54		⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
	55		⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	b
	56		⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	a
	A-1-1 (3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-1 (4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	a

【自由記述欄】

・全体的な計画は、毎年度末の統括会議で見直しを行っています。また、保育内容については、子どもの基本的な保育ニーズを満たす環境を項目ごとに図る保育環境スケールを活用し、環境整備に取り組んでいます。その保育環境スケールについては法人のホームページで公表し保護者への周知に努めています。

・幼児の保育室を中心に全面をガラスで覆ったパーテーションで仕切られており、常に子どもたちの気配を感じられるよう工夫されています。また、各部屋には発達に応じたブロックやカード、絵本、マットなどのコーナーを設け、思い思いの遊びに没頭している姿があります。

・園舎の設計は法人が担当し、他施設の情報活かされるようにしています。園内は収納が考えられており整理が行き届き、清潔に保たれています。壁面は子どもの作品を中心に掲示し、落ち着いた保育室になっています。各保育室とも違う造りになっており、フリースペースや吹き抜け、天井窓がある部屋に職員の手作り玩具や椅子など、家庭的な雰囲気の中で生活できるよう工夫されています。廊下も広く、マットや鉄棒を置いて、自然な形で運動遊びに親しむ姿があります。

・障害のある子どもが安心して過ごせるよう配慮しています。今後は、障害のある子どもの保護者との連携だけでなく、全保護者に対しても、障害のある子どもに対する理解が深まるよう適切な情報提供を行われるとより良いでしょう。また、長時間にわたる保育のための環境を整備していますが、今後は、指導計画等に長時間保育についての配慮事項を記入されるとより良いでしょう。

・向日市として小学校との交流を深める為、年数回の交流事業を行っています。また、保育士が小学校の参観に行ったり、小学校の新人の教諭が保育体験に来るなど、教諭同士の交流も深めています。

・契約農家から無農薬の食材を仕入れています。子どもたちは、その田んぼで保護者と一緒に田植え体験を楽しみ、自分たちで育てたお米を食べています。また、給食意見書があり各家庭の嗜好調査や子どもの給食時の様子などを記録し、給食に反映するようにしています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	a
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	a

[自由記述欄]

・0～2歳児を対象にした保護者向け連絡帳や年2回実施の保育参観、年1回実施のクラス懇談、年2回実施の個人懇談を開催し、相談内容は記録されています。

・職員個別の自己評価チェックシートがあり、年2回振り返り評価を実施すると共に、法人内で年1回以上、保育内容の実践研修があり、定期的に保育の見直しの機会を設けて改善できるよう取り組んでいます。